

倉持 香苗

日本福祉大学福祉社会開発研究所 研究員

地域再生を目指すコミュニティカフェの重要性とコミュニティソーシャルワーカーの役割に関する研究

本研究は、誰もが気軽に集い、繋がり、支え合う関係を構築する可能性を持つコミュニティカフェの実態と、そこで働くコミュニティカフェのスタッフの利用客や地域に対する関わりについて分析すると共に、地域に人々の居場所を作るだけではなく、人々を意識的に繋ぐ役割を持つ人材配置の必要性があるのではないかという点を明らかにすることを目的としておこなった。

その結果、コミュニティカフェのスタッフが利用客個人を理解し、彼等の特技などを引き出し、個人や地域・関係機関などを繋ぎ、なおかつ、地域に関わるというように広い関わりをしているほうが、利用客同士が互いに知り合っていることが明らかになった。また、こうした関わりをしているスタッフの全員が、何らかの方法で地域課題を把握しており、利用客や地域住民といった対人関係から把握している割合が高かった。つまり、コミュニティカフェという場所を設置するだけではなく、個から地域まで広く関わるスタッフの配置があつてこそ、コミュニティカフェ本来の機能を果たすことが明らかになった。